

## イオングループと横浜市で「プラごみ削減キャンペーン ～見直そう！使い捨て～」を実施しました

6月の「よこはまプラスチック対策強化月間」において、市内イオングループ全店舗でキャンペーンを実施しました。

その結果、6月はレジ袋辞退率が増加しました！（※総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」）  
一方、消費者アンケートの結果では、ストローやペットボトルの削減に取り組んでいる方が、4割台に留まっています。今後、これらの使い捨てプラスチックの発生抑制について、市民の皆様積極的に呼び掛けていきます。

### 実施結果

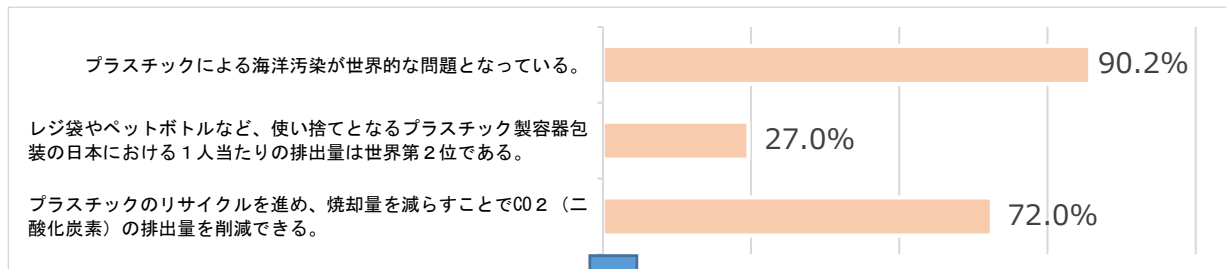
#### ■ レジ袋平均辞退率 （※総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」5店舗での平均）

2019年4月	2019年5月	2019年6月
80.75%	<b>79.83%</b>	<b>81.98%</b>

5月から6月で  
2.15%上昇！

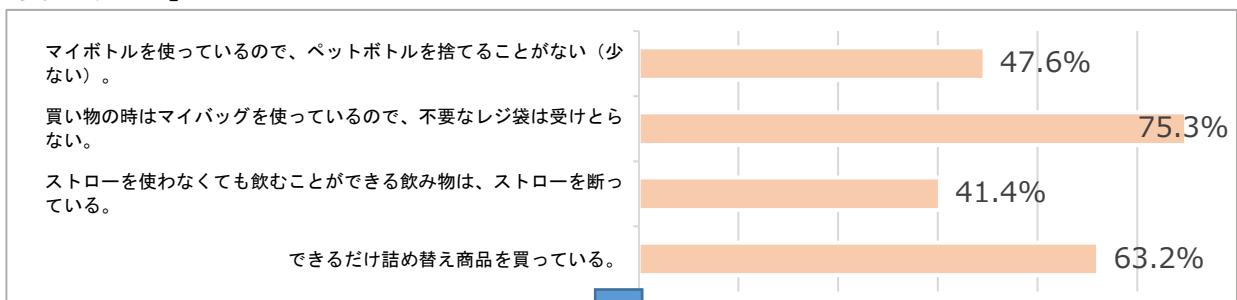
#### ■ 消費者アンケート結果（抜粋） （※詳細別紙）

Q：「プラスチックによる環境問題（海洋流出、マイクロプラスチック、地球温暖化等）について知っていることはありますか？」



- ・「プラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となっている」の認知度が9割を超えた。
- ・「使い捨てとなるプラスチック製容器包装の日本における1人当たりの排出量は世界第2位である」を知っている人は3割にも満たなかった。

Q：「使い捨てとなるプラスチックを減らすための行動についてお聞きします。普段取り組んでいることはありますか？」



- ・マイバッグを持参する人、詰め替え商品を買っている人は6～7割となった。
- ・マイボトルを使っている人、ストローを断っている人は4割台に留まった。

## ■ キャンペーン概要

### ① 実施期間

令和元年6月1日（土）から6月30日（日）まで

### ② 実施店舗

市内イオングループ **356店**

・イオン	6店	・マルエツ	20店	・ウェルシア薬局	6店
・イオンスタイル	2店	・ピーコック	3店	・ハックドラッグ	107店
・まいばすけっと	164店	・ダイエー	6店		
・ミニストップ	40店	・マックスバリュ	2店		
					<b>計356店</b>

### ③ イオンでの取組

- (1) ポスター、ポップの掲示
- (2) レジ袋要否の声かけ
- (3) レジ横サイネージでの呼びかけ（まいばすけっとで実施）
- (4) “横浜限定”お持ち帰り専用かご「マイバスケット」
- (5) 消費者アンケートの実施、抽選でプレゼントを贈呈
- (6) その他店舗での取組

- ・レジでのストローやスプーンなどの要否の声かけ
- ・プラスチック対策に向けた行動を促す店頭アナウンス
- ・簡易包装商品の特設コーナー設置

#### (7) 店頭啓発

合計 24 回実施、6,000 人に啓発



キャンペーンポスター



マイバスケット



レジ横サイネージ



## ■ イオン株式会社との連携の経緯

- ・横浜市とイオン株式会社は、環境保全、子育て支援、健康づくりなど 10 分野において、相互の連携を強化し、横浜における市民サービスの向上と地域の一層の活性化に資する「包括連携協定」を 2012 年 5 月 9 日に締結しました。
- ・このたび、横浜市としてプラスチック対策を進めるにあたり、包括連携協定に基づいて、具体的な協議を進め、今回のキャンペーンを実施しました。

### お問合せ先

資源循環局 3 R 推進課長

江口 洋人 Tel 045-671-2563

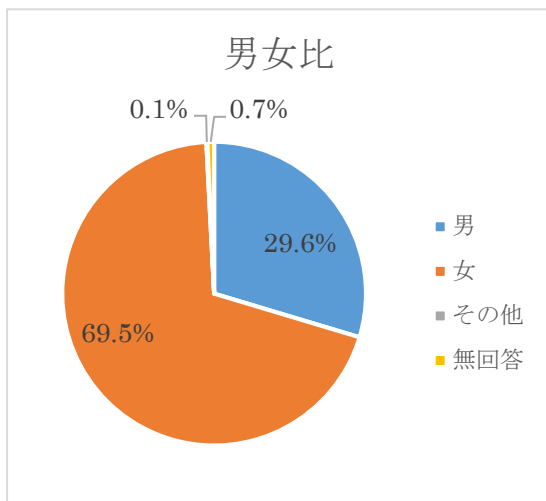
イオン×横浜市  
 プラごみ削減キャンペーン～見直そう！使い捨て～  
 アンケート結果

はがき 3,847件 WEB 631件 計 4,478件回答

アンケート回収率 18.6%

有効回答数 3,644件（同一人による複数応募（834件）はアンケート集計から除外）

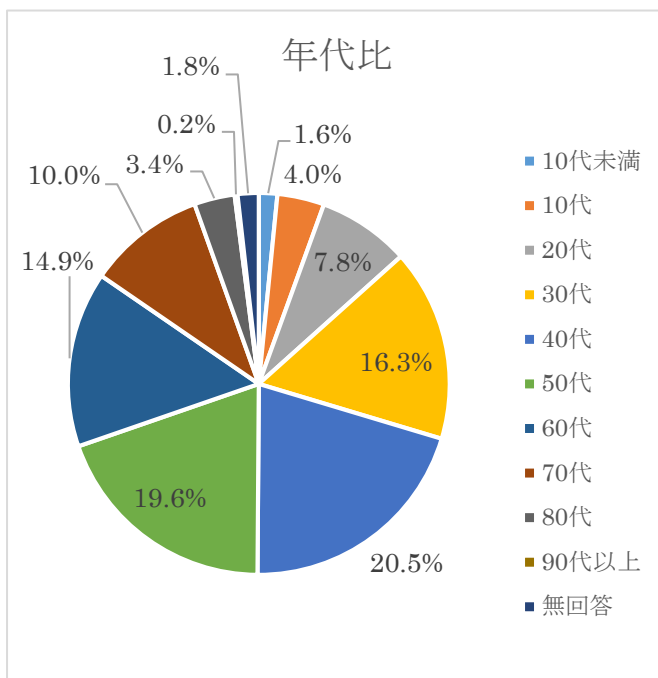
1. 男女比



男	1,080	29.6%
女	2,534	69.5%
その他	4	0.1%
無回答	26	0.7%

女性が7割、男性が3割となっている。

2. 年代比

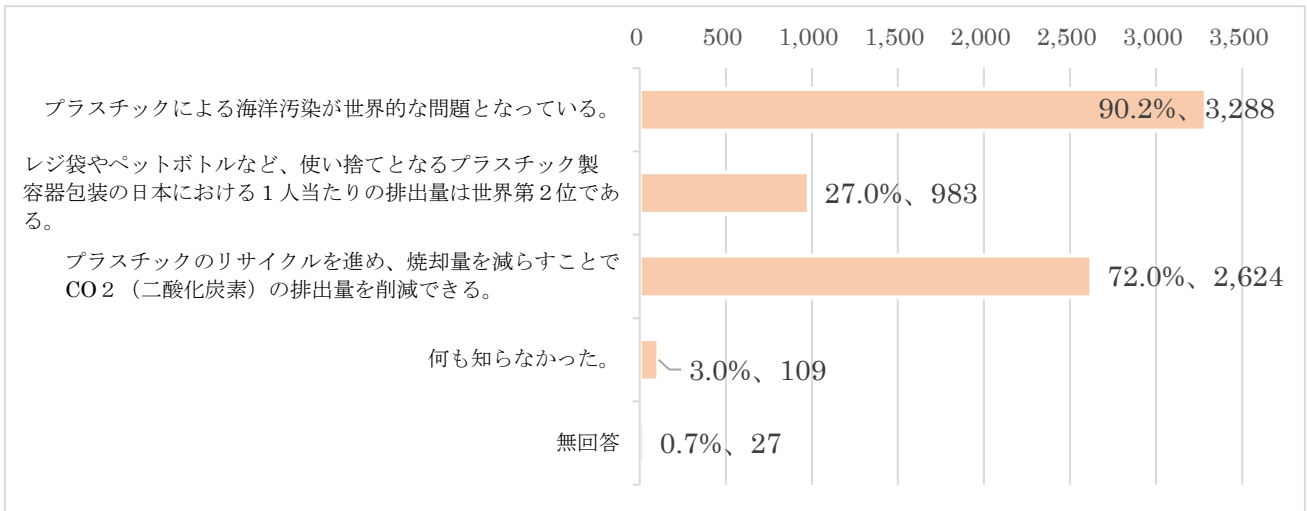


10代未満	57	1.6%
10代	145	4.0%
20代	285	7.8%
30代	593	16.3%
40代	746	20.5%
50代	714	19.6%
60代	542	14.9%
70代	363	10.0%
80代	125	3.4%
90代以上	9	0.2%
無回答	65	1.8%

40代、50代が一番多く、それぞれ約20%を占めた。続いて30代、60代となった。

**Q1 プラスチックによる環境問題（海洋流出、マイクロプラスチック、地球温暖化等）について知っていることはありますか？（複数回答可）**

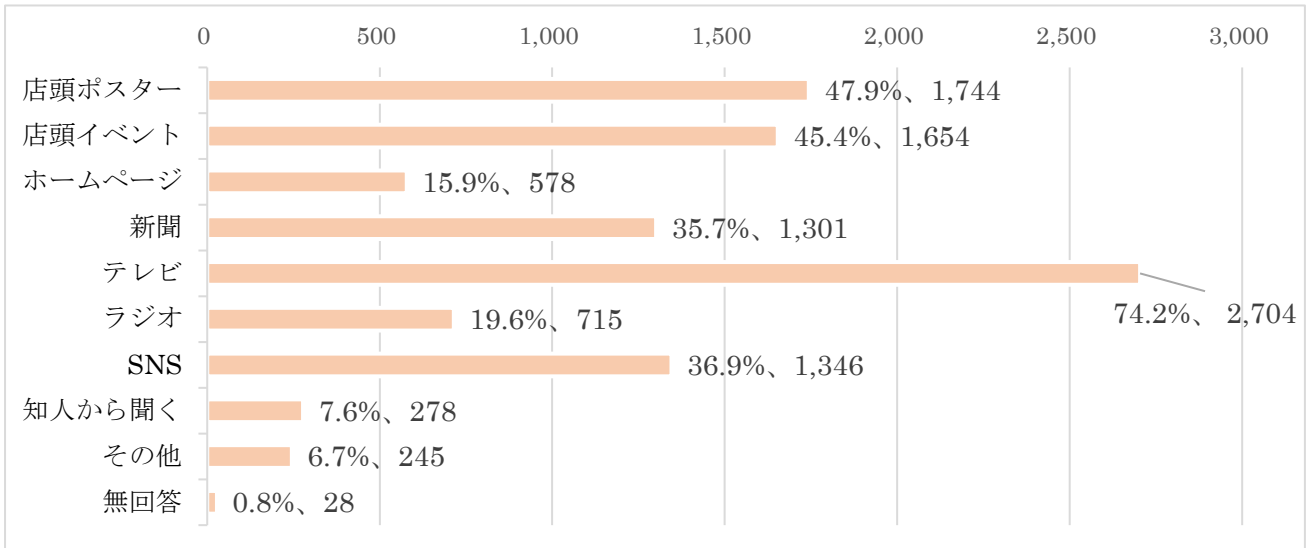
（有効回答数：3,644 件）



「プラスチックによる海洋汚染が世界的に問題となっている」の認知度が9割を超えた一方、「使い捨てとなるプラスチック製容器包装の日本における1人当たりの排出量が世界第2位である」を知っている人は3割に満たなかった。

**Q2 多くの方にプラスチック問題を知っていただくために、どのような方法が有効と考えますか？（複数回答可）**

（有効回答数：3,644 件）



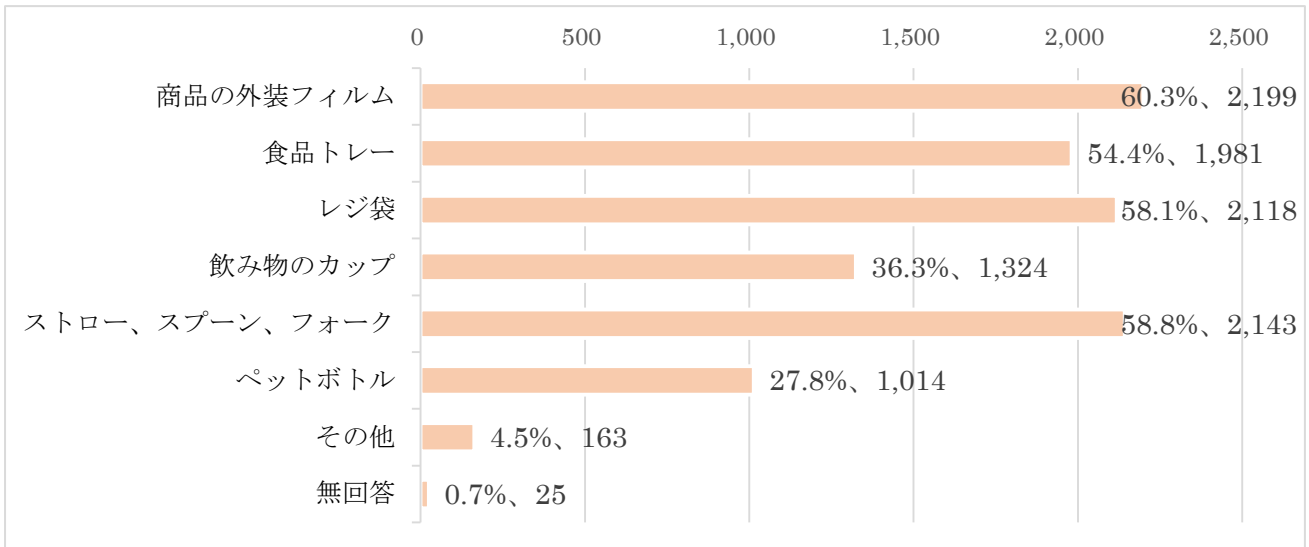
市民が考える有効的なPR方法としてテレビがもっとも多かった。続いて店頭ポスター、店頭イベントが続いた。

**その他の主な意見（カッコ内は件数）**

学校教育（57） 交通広告（21） プラスチック・商品に直接印刷（12）

**Q 3 不要、過剰だと思う使い捨てとなるプラスチックにはどんなものがありますか？（複数回答可）**

（有効回答数：3,644 件）



「商品の外装フィルム」「食品トレー」「レジ袋」「ストロー、スプーン、フォーク」がほぼ同じ割合で多かった。

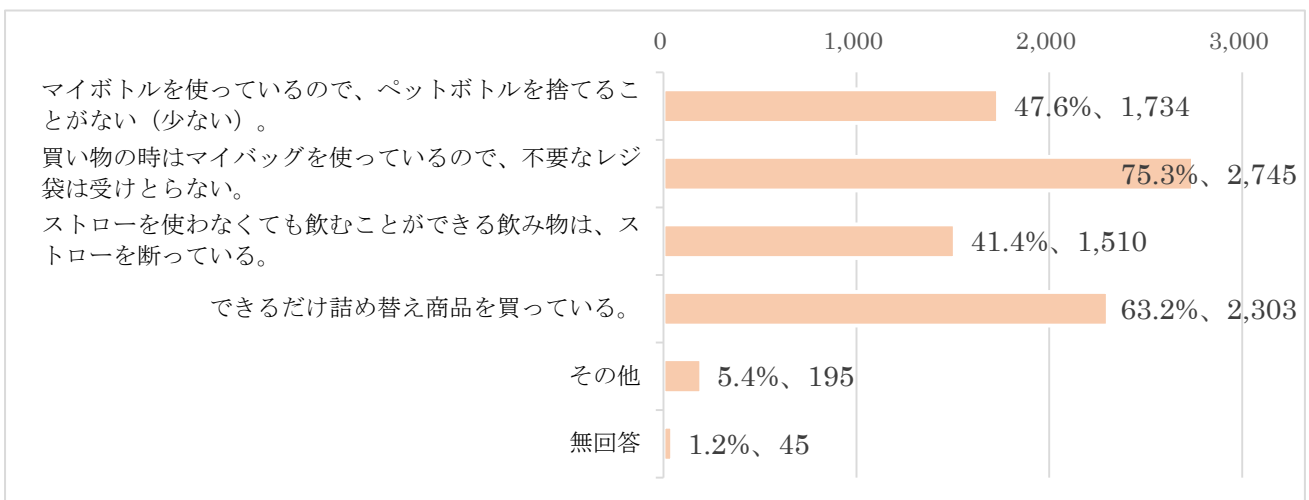
**その他の主な意見（カッコ内は件数）**

緩衝材・梱包材・プチプチ（9） サッカー台のポリ袋（9） 過剰包装（5）

使い捨てとなるプラスチックを減らすための行動についてお聞きします。

**Q 4-1 普段取り組んでいることはありますか？（複数回答可）**

（有効回答数：3,644 件）



マイバッグ持参、詰め替え商品を買っている人の割合が比較的多かった。反面、ストローを断っている人はそれほど多くなかった。

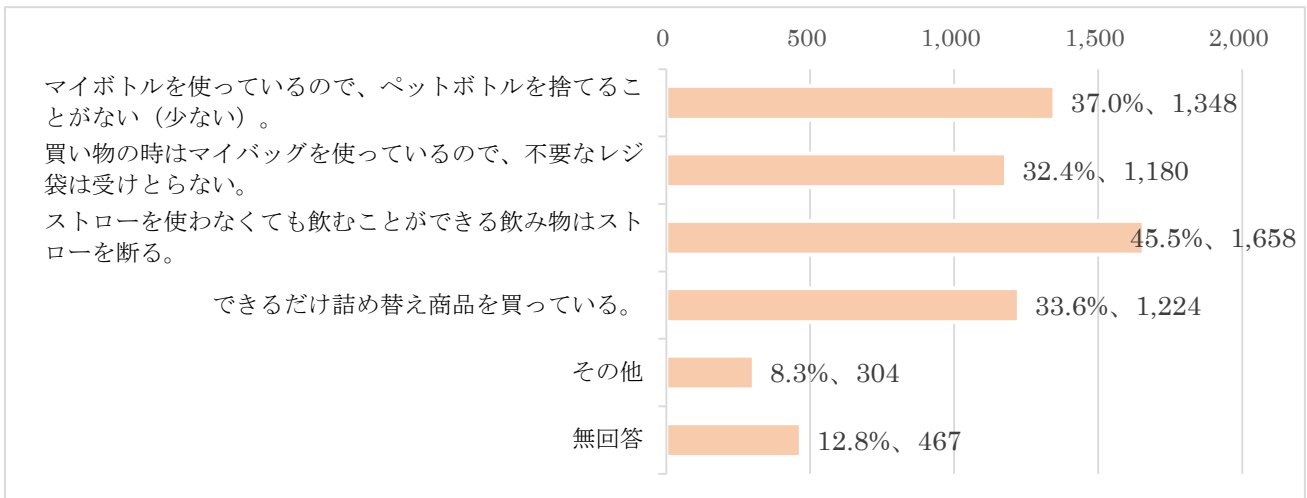
**その他の主な意見（カッコ内は件数）**

分別（18）店頭のリサイクルBOX利用（8）

コンビニ、スーパーでスプーン・フォーク・はしを受け取らない（13）

**Q4-2 今後取り組めると思うことはありますか？（複数回答可）**

（有効回答数：3,644 件）



「ストローを使わなくても飲むことができる飲み物はストローを断る」について、今後取り組もうとしている市民が一番多かった。また、無回答が比較的多かった。

**その他の主な意見（カッコ内は件数）**

プラ製品を買わない・使わない（21）    ごみの分別（15）

過剰包装のものを買わない・断る（12）

**Q5 当キャンペーンに対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひご記入ください。**

「プラごみによる環境問題について、考える良いきっかけとなった」など好意的な意見が多かったが、「キャンペーンの認知度が低い」「キャンペーンが目立たない」など否定的な意見も少数ながらあった。

**2,104 回答のうち、代表的な意見（抜粋）**

要素（件数）	代表的な意見
キャンペーンに関する意見（728）	・大いに賛同できるキャンペーン（取組）です。ストローなどは有料にして、全国的に削減意識を浸透させてほしい。
プラスチックに関する意見（127）	・子供がこちらのハガキを見つけ、キャンペーンを知った。大好きなくじらが載っていて喜んでいましたが、お腹の中にプラスチックがあり、死んでしまったくじらを見てショックを受けていた。子供とプラごみについて勉強するよい機会となった。これから子供とプラごみを減らし、少しでもよい環境になる事を願う。
広報に関する意見（244）	・ごみ問題について多くの人に関心をもってもらえる様に今後も活動を応援したい。オリンピックでは世界中の人が集まるので世界へのアピール、日本への周知ができたらすてきだと思う。
取組内容に関する意見（245）	・アンケートに答えるという手軽な手段でプラごみの削減を呼びかけるのは良いと思った。マイバック持参でポイント付与するサービスの他にマイバッグ持参したらキャンペーンに参加できるという形にしたら実際にプラごみ削減につながるのではないかと思った。

レジ袋に関する意見 (138)	・レジ袋を有料化しているが、1枚 2～3 円は安いと思う。もっと高く設定すればマイバッグを使う人が増えていけらうと思いつながら買い物をしている。
アンケート・ポスターに関する意見 (131)	・レジの隅にはがきが置いてあつて、なかなか気がつかなかつた。もっと目立つようにしたら、多く人の目に留まると思つた。
イオンとの連携に関する意見 (30)	・地球環境問題は自分とは無縁なことと考へがちだが、グローバルな観点からの環境保護と社会課題の解決に誰もができることを実践していく等、問題意識を持つことが大切だと思ふ。当キャンペーンは行政と企業が一緒に取り組む様子が市民に伝わるカタチの良い企画だと思ふ。
事業者に対しての意見 (191)	・企業と個人双方の努力がなければプラごみ削減はできない。商品製造の現場からの意識改革と取り組みを行つた上で、消費者に強くアピールする必要があると思ふ。
意識・行動に関する意見 (356)	・多くの方にプラスチックだけでなく、色々な環境問題に興味を持ってもらえるといふ。
海に関する意見 (35)	・地球が大変な事になつてるので小さいことでも気にかけてきれいな地球にしたいと思つている。
商品に関する意見 (28)	・もっといろいろな種類のエコグッズがプレゼントにあつたらいいなと思つた。
その他 (226)	・私が小さなころはプラごみによる環境汚染は一般に知られていなかつた。こういう事は小さな頃からの意識が大切なので学校での学習等でできればいいのと思ふ。

注：1 回答に複数要素を含む意見は、それぞれの項目に計上しています。そのため、回答数と意見件数の総数は一致しません。